



共に！

～生徒・保護者・地域・職員～

長崎県立三和中学校
令和5年度学校だより No.3
令和5年6月9日(金)
文責 校長 赤塚竜造

いよいよ中総体！

3年生にとって、最高の晴れ舞台。自信をもちすべてを出し切るプレイを！



～生徒代表から激励のこたば～

中総体に出場される選手の皆さん。皆さんはこの中総体に向けて、毎日練習に励んできたかと思います。グラウンドや体育館から皆さんの元気な声が響くたびに、私を含め生徒や先生方、保護者の方々、地域の方々には元気をもらっていました。新型コロナウイルスの影響により、思うように練習や試合ができないこともたくさんあったかと思います。また、思うような結果が出ずに、くじけそうにな

ったり、いやになったりすることもあったかと思います。しかし、皆さんはそのような苦しいことも、仲間を信じ支えあいながら乗り越え、毎日努力をし続けたきたかと思います。

中総体では、これまでのその頑張り信じ、三和中学校の代表として、正々堂々勝負してください。特に3年生にとっては最後の中総体となります。悔いの残らないよう、今までの練習の成果を発揮してきてください。2年生、1年生は3年生を支え、その雄姿を目に焼きつけてきてください。

最後に、皆さんには私たちがついていきます。選手の皆さんが中総体で全力でプレイし、勝負にかかわらず納得のいく試合となるよう、学校から全力で応援しています。

～校長より～

いよいよ2日後にせまった中総体。水泳は9日後。各チームの決意の言葉を聞いて熱い思いを感じとりました。「練習は試合のように、試合は練習のように」という言葉があります。この言葉は、テニス競技から生まれたといわれています。例えば、試合の時こそ、練習のようにラリーをしよう意識してみる…ことが大切だということです。早く勝負を決めたい一心で、ミスをおこし自滅するケースがあります。どの競技においても、練習でやってきたことを試合本番で十分に活かせるようにと祈っています。残り2日という時間を大切に使い、調整をして、今できることに全力で挑戦してください。

バスケット(NBA)で活躍している八村塁選手の試合後のインタビューで、発言した言葉を2つ紹介します。1つ目は、「どんな気持ちで試合に向かっているのか？」彼は「毎日本気で練習をやってきたから、その成果を出せる試合がすごく楽しみ」です…と。2つ目は、「何を一番大切にプレイしているか？」彼は「仲間とのコミュニケーションと思い切ってプレイすること」です…と。

試合中は、いろいろな流れがあり、変化します。良い流れの時もあれば、良くない流れの時があります。それは、どのチームの選手も、勝ちたくて必死になっているから、当たり前のことだろうと思います。もし、試合中に気持ちが弱くなった時には、今まで積み重ねてきた練習を思い出してください。練習してきた努力は裏切りません。自信をもち「よし！やろう」と気持ちを切り替えて戦ってください。

特に、良くない流れの時は、ベンチにいる皆さんの出番です。競技によって、拍手のみとか声が出せる等さまざまかもしれません。ルールにのっとり応援をお願いします。また、一人で戦わねばならない人もいます。その時は生徒代表の激励の言葉や美術部制作の応援旗を思い出して乗り切ってください。

今回の大会には、クラブチームから参加する選手もいます。三和中の生徒の代表であることにかわりはありません。精一杯戦ってください。

三和中の強みは、同じ目的をもって、一致団結してやり遂げることができることです。

コーチや保護者のみなさん、お世話になった方々、そして先生方にも感謝しつつ、試合会場にいる選手と学校で応援する生徒が、ひとつになる姿を楽しみにしています。「チーム三和中」として頑張りましょう。選手の皆さん、楽しく思い切って戦ってきてください。健闘を期待し、勝利を祈っています。

選手激励会より

各チームの抱負、選手宣誓、巻頭言、応援旗…どれも気合が入っています!!

